



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月11日

上場会社名 丸大食品株式会社

上場取引所 東

コード番号 2288 URL <http://www.marudai.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 俊春

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 加藤 伸佳

TEL 072-661-2518

四半期報告書提出予定日 2019年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	124,667	2.8	2,062	101.1	2,379	93.0	1,434	125.0
2019年3月期第2四半期	121,228	0.4	1,025	44.5	1,232	40.1	637	47.0

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 910百万円 (45.5%) 2019年3月期第2四半期 1,672百万円 (22.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	56.42	
2019年3月期第2四半期	25.01	

当社は、2018年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	134,888	76,089	56.0	2,971.92
2019年3月期	132,626	76,094	57.0	2,971.34

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 75,559百万円 2019年3月期 75,575百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期				35.00	35.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)				35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	250,000	2.9	3,500	55.3	3,900	43.2	2,050	40.0	80.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期の連結業績予想における「1株当たり当期純利益」につきましては、当第2四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年9月30日)に取得しました自己株式を考慮して算出しております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	26,505,581 株	2019年3月期	26,505,581 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	1,081,199 株	2019年3月期	1,070,631 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	25,432,911 株	2019年3月期2Q	25,500,628 株

当社は、2018年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移する一方で、米中貿易摩擦などの地政学的リスクの高まりなどから、依然として不透明な状況が続いております。

当業界におきましては、消費税率引き上げによる消費者心理の落ち込み影響や、企業間競争の激化に加え、人手不足や物流コストの上昇など、厳しい環境が続いております。また、食肉相場につきましては、国産牛肉は軟調気味に推移し、輸入牛肉は前年を上回りました。豚肉は、国内外における豚コレラの影響などから、動きの激しい不安定な相場となっており、国産豚肉は期間の平均では前年を下回り、輸入豚肉は総じて前年を上回りましたが、先行きが見通しにくい環境が続いております。

このような状況のなか、当社グループは、お客様に、より安全でより安心して召し上がっていただける食品を提供する総合食品メーカーとして、真に社会的存在価値が認められる企業を目指し、「基幹事業の拡大と次なる柱の育成」「商品開発力、技術力の強化」などの基本方針を軸に企業活動を推進してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は前年同期比2.8%増の1,246億67百万円、営業利益は同101.1%増の20億62百万円、経常利益は同93.0%増の23億79百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同125.0%増の14億34百万円となりました。

セグメント別の業績の概況は、次のとおりであります。

【セグメント別業績】

(単位：百万円)

	売上高 (注)			セグメント利益		
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)
加工食品事業	84,803	86,983	2,179 (2.6%)	210	1,426	1,215 (576.7%)
食肉事業	36,343	37,603	1,259 (3.5%)	772	601	△171 (△22.2%)
その他	80	80	△0 (△0.9%)	42	35	△7 (△16.8%)
合計	121,228	124,667	3,438 (2.8%)	1,025	2,062	1,036 (101.1%)

(注) 売上高には、セグメント間の内部売上高は含まれておりません。

【加工食品事業 売上高内訳】

(単位：百万円)

	売上高		
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)
ハム・ソーセージ	40,241	38,743	△1,497 (△3.7%)
調理加工食品	44,562	48,239	3,677 (8.3%)

① 加工食品事業

ハム・ソーセージ部門では、「あと1年!夢をつなごう!キャンペーン」などの販促活動を実施、東京2020オリンピック・パラリンピックオフィシャルサポーターのエンブレムを商品パッケージにデザインした「燻製屋熟成あらびきポークウイナー」などの主力商品を中心に販売強化に努めました。また、ボリュームパックタイプの「ロースハム」を拡販したほか、人気テレビ番組「チョコちゃんに叱られる!」に登場するキャラクターを使用した「フィッシュソーセージ(チョコちゃん)」などの新商品を投入し売上拡大を図りました。中元ギフトにつきましては、モンドセレクション食品部門において最高金賞を受賞しました商品を中心に詰め合わせた「王覇」「煌彩」シリーズなどの拡販に努めました。これらの施策を行いました、お客様の節約志向を背景とした企業間競争の激化などから、当部門の売上高は前年同期比3.7%の減収となりました。

調理加工食品部門では、食べごたえのある食感に仕上げた「チキンナゲット」やヘルシーな「サラダチキン」シリーズが堅調に推移したほか、「バターチキンカレー」などの「シェフの匠」シリーズを拡販し、レトルトカレー商品の売上高を伸ばしました。デザート・飲料類につきましては、「TAPIOCA TIME」シリーズなどのブラックタピオカ入り飲料が、引き続き好調に推移しました。また、前期に立ち上げたコンビニエンスストア向け新工場の本格稼働が増収に貢献しました。以上のことから、当部門の売上高は前年同期比8.3%の増収となりました。

以上の結果、加工食品事業の売上高は前年同期比2.6%増の869億83百万円となりました。セグメント利益は、主力のハム・ソーセージ部門が減収となりましたが、調理加工食品部門の増収が寄与したほか、コンビニエンスストア向け新工場の本格稼働により収益力が改善したことなどから、前年同期比576.7%増の14億26百万円となりました。

② 食肉事業

牛肉につきましては、国産牛肉の売上高は前年並みとなりましたが、輸入牛肉はブランド牛肉の販売に注力し販売数量を伸ばしたことなどから、牛肉全体の売上高は前年を上回りました。豚肉につきましては、国内外における豚コレラの影響などによる不安定な相場のなか、国産豚肉の売上高は前年並みとなり、輸入豚肉はアウトパック商品の販売を拡大し、豚肉全体の売上高は前年を上回りました。

以上の結果、食肉事業の売上高は前年同期比3.5%増の376億3百万円となりました。セグメント利益は、国産豚肉の収益性が低下したことなどから、前年同期比22.2%減の6億1百万円となりました。

③ その他事業

その他事業の売上高は前年同期比0.9%減の80百万円、セグメント利益は前年同期比16.8%減の35百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

〔連結財政状態〕

(単位：百万円)

	前連結会計年度末	当第2四半期 連結会計期間末	増減額
総資産	132,626	134,888	2,261
負債	56,531	58,798	2,266
純資産	76,094	76,089	△4
自己資本比率	57.0%	56.0%	△1.0%

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、商品及び製品が20億54百万円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ22億61百万円増加し、1,348億88百万円となりました。

負債は、有利子負債が14億12百万円減少しましたが、支払手形及び買掛金が31億10百万円増加したことや、未払金が9億17百万円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ22億66百万円増加し、587億98百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益14億34百万円の計上がありました。剰余金8億90百万円の配当や、その他有価証券評価差額金5億86百万円の減少などから、前連結会計年度末に比べ4百万円減少し、760億89百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末から1.0%低下し、56.0%となりました。

〔連結キャッシュ・フローの状況〕

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,563	7,171	5,607
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,756	△3,460	1,296
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,569	△2,642	△5,212
現金及び現金同等物の増減額	△623	1,068	1,692
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,085	9,195	1,109

営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費や税金等調整前四半期純利益の計上、運転資金の減少による増加要因などから、71億71百万円増加しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の売却による収入がありましたが、生産設備の増強・合理化や品質向上のための固定資産の取得による支出などから、34億60百万円減少しました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、有利子負債の減少や配当金の支払いなどから、26億42百万円減少しました。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の四半期末残高は、前連結会計年度末から10億68百万円増加し、91億95百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期の連結業績予想につきましては、2019年5月14日に発表の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,127	9,195
受取手形及び売掛金	30,699	28,281
商品及び製品	9,242	11,296
仕掛品	591	563
原材料及び貯蔵品	5,937	6,843
その他	1,344	1,584
貸倒引当金	△16	△13
流動資産合計	55,927	57,751
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	53,333	54,153
減価償却累計額	△36,914	△37,104
建物及び構築物 (純額)	16,419	17,049
機械装置及び運搬具	59,635	61,856
減価償却累計額	△45,965	△47,289
機械装置及び運搬具 (純額)	13,670	14,567
工具、器具及び備品	4,772	4,740
減価償却累計額	△3,088	△3,047
工具、器具及び備品 (純額)	1,683	1,692
土地	18,966	18,429
リース資産	8,649	8,753
減価償却累計額	△3,009	△3,276
リース資産 (純額)	5,640	5,476
建設仮勘定	1,464	734
有形固定資産合計	57,843	57,949
無形固定資産	2,835	3,208
投資その他の資産		
投資有価証券	12,297	11,491
関係会社株式	17	106
長期貸付金	30	28
退職給付に係る資産	—	312
繰延税金資産	317	304
その他	3,484	3,868
貸倒引当金	△127	△133
投資その他の資産合計	16,019	15,977
固定資産合計	76,699	77,136
資産合計	132,626	134,888

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,058	26,168
短期借入金	6,380	6,094
1年内返済予定の長期借入金	1,927	1,684
リース債務	1,087	1,014
未払金	8,779	9,697
未払法人税等	488	665
未払消費税等	647	538
賞与引当金	920	1,022
その他	1,932	1,554
流動負債合計	45,221	48,439
固定負債		
長期借入金	3,971	3,248
リース債務	4,650	4,563
繰延税金負債	1,281	1,082
退職給付に係る負債	718	779
その他	688	685
固定負債合計	11,309	10,358
負債合計	56,531	58,798
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,716	6,716
資本剰余金	22,086	22,086
利益剰余金	44,912	45,457
自己株式	△2,635	△2,657
株主資本合計	71,079	71,602
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,273	4,687
繰延ヘッジ損益	8	3
為替換算調整勘定	36	37
退職給付に係る調整累計額	△822	△771
その他の包括利益累計額合計	4,496	3,956
非支配株主持分	519	530
純資産合計	76,094	76,089
負債純資産合計	132,626	134,888

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	121,228	124,667
売上原価	94,490	96,041
売上総利益	26,737	28,626
販売費及び一般管理費	25,711	26,563
営業利益	1,025	2,062
営業外収益		
受取利息	8	8
受取配当金	155	173
不動産賃貸料	94	83
その他	161	256
営業外収益合計	420	522
営業外費用		
支払利息	106	109
その他	107	96
営業外費用合計	213	206
経常利益	1,232	2,379
特別利益		
固定資産処分益	5	132
投資有価証券売却益	78	0
特別利益合計	84	132
特別損失		
固定資産処分損	91	144
減損損失	27	32
損失補償金	56	—
投資有価証券評価損	1	—
特別損失合計	176	177
税金等調整前四半期純利益	1,140	2,334
法人税、住民税及び事業税	555	847
法人税等調整額	△64	35
法人税等合計	491	883
四半期純利益	649	1,450
非支配株主に帰属する四半期純利益	11	15
親会社株主に帰属する四半期純利益	637	1,434

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	649	1,450
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	857	△586
繰延ヘッジ損益	19	△5
退職給付に係る調整額	144	51
持分法適用会社に対する持分相当額	2	1
その他の包括利益合計	1,023	△539
四半期包括利益	1,672	910
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,660	895
非支配株主に係る四半期包括利益	11	15

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,140	2,334
減価償却費	3,084	3,114
減損損失	27	32
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6	3
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△47	△183
受取利息及び受取配当金	△164	△181
支払利息	106	109
投資有価証券売却損益(△は益)	△78	△0
投資有価証券評価損益(△は益)	1	—
固定資産処分損益(△は益)	85	12
売上債権の増減額(△は増加)	△2,767	2,413
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,619	△2,931
仕入債務の増減額(△は減少)	1,960	3,089
未払消費税等の増減額(△は減少)	△86	△109
その他	333	△43
小計	1,970	7,659
利息及び配当金の受取額	164	174
利息の支払額	△105	△109
法人税等の支払額	△438	△370
特別退職金の支払額	△26	△181
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,563	7,171
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△16	△17
投資有価証券の売却による収入	133	0
固定資産の取得による支出	△5,017	△3,597
固定資産の売却による収入	162	333
その他	△19	△179
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,756	△3,460
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	5,082	△286
長期借入金の返済による支出	△831	△966
リース債務の返済による支出	△479	△474
配当金の支払額	△1,019	△889
自己株式の取得による支出	△178	△21
その他	△3	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,569	△2,642
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△623	1,068
現金及び現金同等物の期首残高	8,709	8,127
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,085	9,195

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	84,803	36,343	121,147	80	121,228	—	121,228
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	400	400	△400	—
計	84,803	36,343	121,147	481	121,629	△400	121,228
セグメント利益	210	772	983	42	1,025	—	1,025

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行事業等を含んでおりません。

2 報告セグメントの利益計とその他事業セグメントの利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各セグメントに帰属しない賃貸等不動産について、回収可能価額の低下に伴う減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては27百万円であります。

当第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	86,983	37,603	124,587	80	124,667	—	124,667
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	389	389	△389	—
計	86,983	37,603	124,587	469	125,056	△389	124,667
セグメント利益	1,426	601	2,027	35	2,062	—	2,062

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益計とその他事業セグメントの利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各セグメントに帰属しない賃貸等不動産について、回収可能価額の低下に伴う減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては32百万円であります。